

求められる研究者の倫理とは何か？

～米国の大学における研究倫理 (Research Ethics) と
研究審査委員会 (Institutional Review Board) ～

2013年11月27日(水) 13:00～16:30 受付開始 12:30

第3研究館 研究会議室 (一橋大学・東キャンパス)

趣旨:

近年、研究領域を問わず、研究を行う際に研究者倫理 (Research Ethics) に即した手続きを踏み、明文の倫理規定を遵守した上で研究を行うことが、海外の多くの国々で求められつつあります。一方で、日本においては、研究倫理への取り組みは社会科学系の大学を中心に遅れており、問題も組織的に共有されているとは言えません。本学にも倫理問題と関連する研究テーマを持つ研究者が数多く存在しますが、研究倫理を意識している研究者の中では、倫理問題について日々不安を抱えながら研究に取り組んでいる方も少なくありません。今回の全学FD/SDでは、こうした状況を受け、特に米国の大学における研究倫理 (Research Ethics) と研究審査委員会 (Institutional Review Board) の役割を中心に、研究者倫理の在り方と、学内で研究者倫理を組織的に保障していくシステムについて、専門家から具体的な話を伺います。

◆プログラム◆

開会挨拶
趣旨説明
13:00～13:10

落合 一泰 一橋大副学長 (教育・学生担当)
村岡 啓一 法学研究科・職業倫理教育プロジェクト 教授

第1講演
13:10～13:40

札幌 順氏 (金沢工業大学 科学技術応用倫理研究所 所長)
「責任ある研究活動 (Responsible Conduct of Research) を
推進するために」

第2講演
14:00～14:30

松澤 孝明氏 (独立行政法人科学技術振興機構 研究倫理・監査室 参事役)
「わが国における文系・理系の各分野での研究不正の実態と特徴」

(14:50～15:00 休憩)

第3講演
15:10～15:50

エレヌ・エングルハード氏 (ユタ・ヴァレー大学 哲学教授)
マイケル・プリチャード氏 (ウェスタン・ミシガン大学 哲学教授)
「米国の大学における研究倫理と研究審査委員会について」 (通訳なし)

閉会挨拶

村岡 啓一 法学研究科・職業倫理教育プロジェクト 教授

共催:一橋大学 法学研究科・職業倫理教育プロジェクト/大学教育研究開発センター
※この講演会は本学関係者 (教職員、院生、学部生など) を対象としたものです。

<http://www.rdche.hit-u.ac.jp> / TEL:(042)580-8996 / FAX:(042)580-8997